## 第5回秋田市総合計画・地方創生懇話会 意見一覧【総合戦略(修正案)】

NO	0.	意見内容	対応案・対応方針
1	<i>†</i> Г	「登録総数」「マッチング率」も重要ではないでしょうか。 出生率向上のため、また次世代を担う若者の育成支援として多くの取 組みの指標が、58人の婚姻数では、もの足りなく感じました。	ご意見のありました「登録総数」や「マッチング率」が増加することにより、「あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数」の増加に繋がるものと考えております。指標目標値については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要があるものとし、他の該当指標値と共通して令和元年度現況値と同様としており、計画期間内は新型コロナウイルス感染症の状況把握に努め、収束の見通しが立った段階で令和7年度目標値の見直しを行います。なお、令和3年度よりあきた結婚支援センターの登録料の補助要件を緩和するなど制度を拡充しており、「登録総数」等を増やすことで、指標である「婚姻数」が58人を超えるよう努力してまいります。
2	Į.	「令和7年度まで令和元年度の水準を回復する」の目標設定は良いと思う。但し、これの達成にはワクチン接種が早期に完了し、感染発生が一定抑えられた状態に至るといった言わば外部環境(市の取組のみでは達成できない)が前提となるため、その旨を追記した方が良いと考える。	いただいたご意見を踏まえ、35ページの「第5 効果的な推進と検証」の「2 検証」に、以下の内容を追記します。 「なお、第2期秋田市総合戦略の策定時点で、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しを立てることは困難であるため、同感染症の影響を受ける以下の指標については、原則として、令和7年度目標値は、少なくとも「令和7年度末に令和元年度の水準(同感染症拡大前の水準)を回復する」と仮定した暫定値となる。計画期間内は、同感染症の状況把握に努め、収束の見通しが立った段階で、令和7年度目標値の見直しを行う。」 【対象指標】 ・あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数(秋田市民)・観光客入込数・文化施設の観覧者数・ボランティア活動を行っている65歳以上の人数・自主防災組織などによる防災訓練参加者数・市民交流サロンの講座参加者数
(	F	スポーツホームタウン推進事業と紐づけされた施策であることから、3	SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」については、ハードインフラ整備による持続的な人間居住を目指すものであるといった視点に加え、暮らしの豊かさや住みやすさ、都市の魅力向上とにぎわい創出などもまた、持続可能なまちづくりに重要な役目を担うものと捉えております。基本目標③は、本市に多様な関わり方をするひとが増え、その行き来が活発化することで、交流人口、関係人口、定住人口を拡大させ、まちの魅力やにぎわいを高めることを目指しており、各施策が相互に連動して作用することから、統一して11「住み続けられるまちづくりを」のアイコンを加えることとします。

		多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりは、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいなどの各種サービスの専門機関および専門職との協働により、高齢者が地域で暮らし続けられるまちづくりを実現するものであることから、いただいたご意見のとおり、17「パートナーシップで目標を達成しよう」のアイコンを加えるとともに、11「住み続けられるまちづくりを」のアイコンを加えることとします。
	第4基本目標にある関連するSDGsのアイコンについて P34 エ 市民の主体的な活動の推進 市民が主体的にまちづくりにかかわり、市民と行政、企業など多様な 主体の市民協働によるまちづくりを目指すことから17「パートナーシッ プ」も加えられたい。	アイコンにある17「パートナーシップで目標を達成しよう」という内容を踏まえ加えることとします。